

広報 ふちゅう11

目次

- 02 あなたの行動が命を救う
応急手当を学びましょう
- 04 町からのお知らせ
新型コロナワクチン接種／
小・中学校 指定学校の変更 ほか
- 07 まちのわだい
- 08 ふちゅう子育て応援イクフレ
- 10 くらしのガイド
お知らせ／健康／講座・学習／募集
／イベント／スポーツ／相談
- 16 ふるさとふちゅう再発見／
朝パッ君の耳より情報
- 17 図書館だより／消費生活相談
- 18 府中町消防署からのお知らせ／
正しいごみ出しにご協力を
- 19 今月のカレンダー
休日当番医、施設の休館日など
- 20 町公式アプリ「ふちゅうポータル」

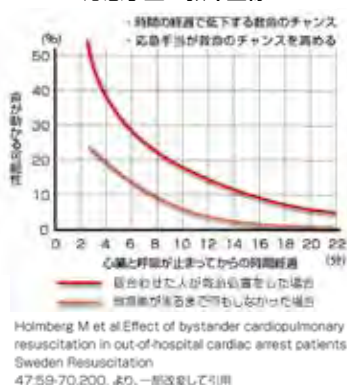
あなたの行動が命を救う

応急手当を学びましょう

問消防本部 ☎286-3119

救急車を呼ぶようなけが人や急病人が発生した場合、その場に居合わせた人（バイスタンダー）が応急手当を速やかに行うことで、救命率の向上や治療の経過にも良い影響を与えることが分かっています。いざという時に大切な命を救うため、応急手当の知識を深めましょう。

応急手当と救命曲線



救命の鍵を握る応急手当

平均して約8分。これは19番通報があつてから救急車が現場に到着するまでの時間です。消防庁の調査によれば、この救急車到着までの間に心肺蘇生やAED（自動体外式除細動器）などの応急手当を行えば、救命の可能性はおよそ2倍になることが分

かっています。

実際、府中町の救急現場においても、バイスタンダーが応急手当を行い、尊い命が救われたり、病状悪化の防止につながったりした事例がいくつも発生しています。

（具体的な事例）

・車の中で心肺停止になった人に、その場に居合わせた看護師と協力して胸骨圧迫（心肺蘇生）を行った
・商業施設内で倒れた人に、AEDを使用し、その後胸骨圧迫を行った

いづれの急病人も、治療後、社会復帰しています。

町からのお願い

本紙に掲載している行事等は新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減のため、手指消毒の徹底など基本的な対策を行った上で、実施します。参加される人は、マスク・フェイスシールドの着用などご協力をお願いします。※状況に応じて、内容の変更や開催を中止する場合があります。

今月号の表紙



特集で紹介している内容を基に、その場に居合わせた人の「応急手当」の大切さと、命をつなぐ「救命のリレー」をイメージして撮影しました。

命のボタンをつなぐ

「救命のリレー」

心臓や呼吸が止まってしまったら…

心臓や呼吸が止まった人の治療は1分1秒を争います。

このようなとき、まず必要なことは「すぐに119番通報する」ことです。通報が早ければ早いほど、救急隊員による救命処置をより早く受けることができます。そして、その後、早く病院に到着することができま

す。また電話を通じて、救急隊が到着するまでの間に行わなければならない応急手当の指導も受けることができます。

バイスタンダーに求められる応急手当の一番の目的は「救命」にあります。そのため、応急手当を行う際は、「救命」を目的とした手当を最優先します。

【救命処置の流れ（例）】

① 反応と呼吸を確認し、助けを呼ぶ（119番通報）

Point
耳元で声をかけながら、肩を軽く叩いて確認

② 心肺蘇生（胸骨圧迫）を行う

Point
1分間に100～120回のテンポで、約5cm沈むまでしっかり体重をかける

③ AEDを使用する

Point
音声ガイドに従い、ショックボタンを押す際は誰も傷病者に触れていないことを確認する



※体動がみられるまで、②と③を繰り返します。

「より確実に」「自信をもって」対応するために

大切な命を救うためには、救急隊や医療従事者の力だけではなく、そこに居合わせた一人ひとりの協力が必要不可欠です。

消防庁では、受講料無料の応急手当WEB講習を行っています。

いざという時、より確実に、自信を持って「何か一つ」でも行動に移し、命のボタンを次に引き継ぐことができるよう、応急手当の基本的な知識を身につけておきましょう。

いざという時のための 救急医療情報キット

問 高齢介護課高齢者福祉係
☎286-3256

救急医療情報キットは、緊急連絡先、かかりつけの病院や服薬内容等を記入した『救急医療情報キット』を冷蔵庫内に保管し、119番通報で駆けつけた救急隊員が迅速に救急活動を行えるよう、備えておくものです。

町では、70歳以上の人または健康に不安のある人に、救急情報を入れる救急医療情報キットを無料で配布しています。



キットに入れるもの

- ・「救急情報」用紙
- ・健康保険証の写し
- ・診察券の写し
- ・お薬手帳や薬剤情報提供書の写し
- ・本人の顔写真
- ・新型コロナウイルスワクチン接種済証の写し など

◆救急医療情報は常に最新の情報に更新を行いましょう。

AEDの場所を確認しよう

AEDは公共施設や商業施設、医療機関などに設置しています。自分の住んでいる地域や普段よく行く場所などの、どこにAEDがあるのかを確認しておきましょう。

設置場所の詳細は、町ホームページに掲載しています。



応急手当の基本を学ぶ 一般向け応急手当WEB講習

インターネットを使って、パソコンやスマートフォンなどから消防庁が提供するWEB講座を受講できます。（受講料無料）
学習メニューごとに分割して受講できるため、受講者の都合に合わせて学ぶことができます。
※通信費用はかかります。

一般市民向け
応急手当WEB講習

目の前で誰かが倒れてしまったとき、あなたは助けてあげることが出来ますか？
町では誰でも、誰でも出来る応急手当を、
方々の健康を守るために、適切な応急手当を、
町民から身につけておきましょう。

応急手当を学びましょう

応急手当とは

心肺蘇生 一連の流れ

操作方法

消防庁

消防庁 応急手当WEB講習 検索

◆町消防署でも、町内会や職場、サークル活動グループを対象に、年間を通じて救急に関する講習を実施しています。受講を希望する団体は、消防本部へお問い合わせください。※新型コロナウイルス感染症の状況により中止している場合があります。